尼崎信用金庫
AMASHIN

AMAGASAKI SHINKIN BANK

事業のご報告

第104期　2023年4月1日から2024年3月31日まで





ごあいさつ

理事長　作田誠司

会員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は尼崎信用金庫に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

ここに、第104期の事業概要につきましてご報告申し上げます。

昨年度のわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行したことを受け、社会・経済活動の正常化に向けた動きが本格化しました。国内消費やインバウンド需要も回復するなど、緩やかに持ち直しの動きが継続し、新たな成長軌道に乗ることが期待されたものの、急激な円安による原材料・エネルギーコスト増、深刻化する人手不足の影響など、景気は先行き不透明な状況が続きました。

このような経済環境のもと、当金庫は地域・お取引先・職員という金庫のステークホルダーと「ともに成長する」あましんをめざし、お取引先の本業支援・伴走支援をはじめ、地域の持続的発展に貢献できる取り組みを実践してまいりました。

その結果、一般企業の営業利益にあたる業務純益は48億円、経常利益は45億円、当期純利益は35億円となりました。自己資本比率は15.95%と国内基準（4%）を大きく上回り、引き続き高い健全性を維持することができております。

これもひとえに、会員の皆さま方の永年にわたる温かいご支援・ご愛顧の賜物と心より感謝申し上げます。

2024年度は、「すべてのステークホルダーに喜びと感動を提供するあましん」をビジョンに掲げる3ヵ年事業計画の最終年度となります。役職員一人ひとりが自らの役割・使命をしっかりと認識し、地域・お取引先とのコミュニケーションを大切にしながら、一緒になって持続可能な社会の実現と企業価値の向上に取り組んでまいります。

何とぞ、倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

あましんの「いま」

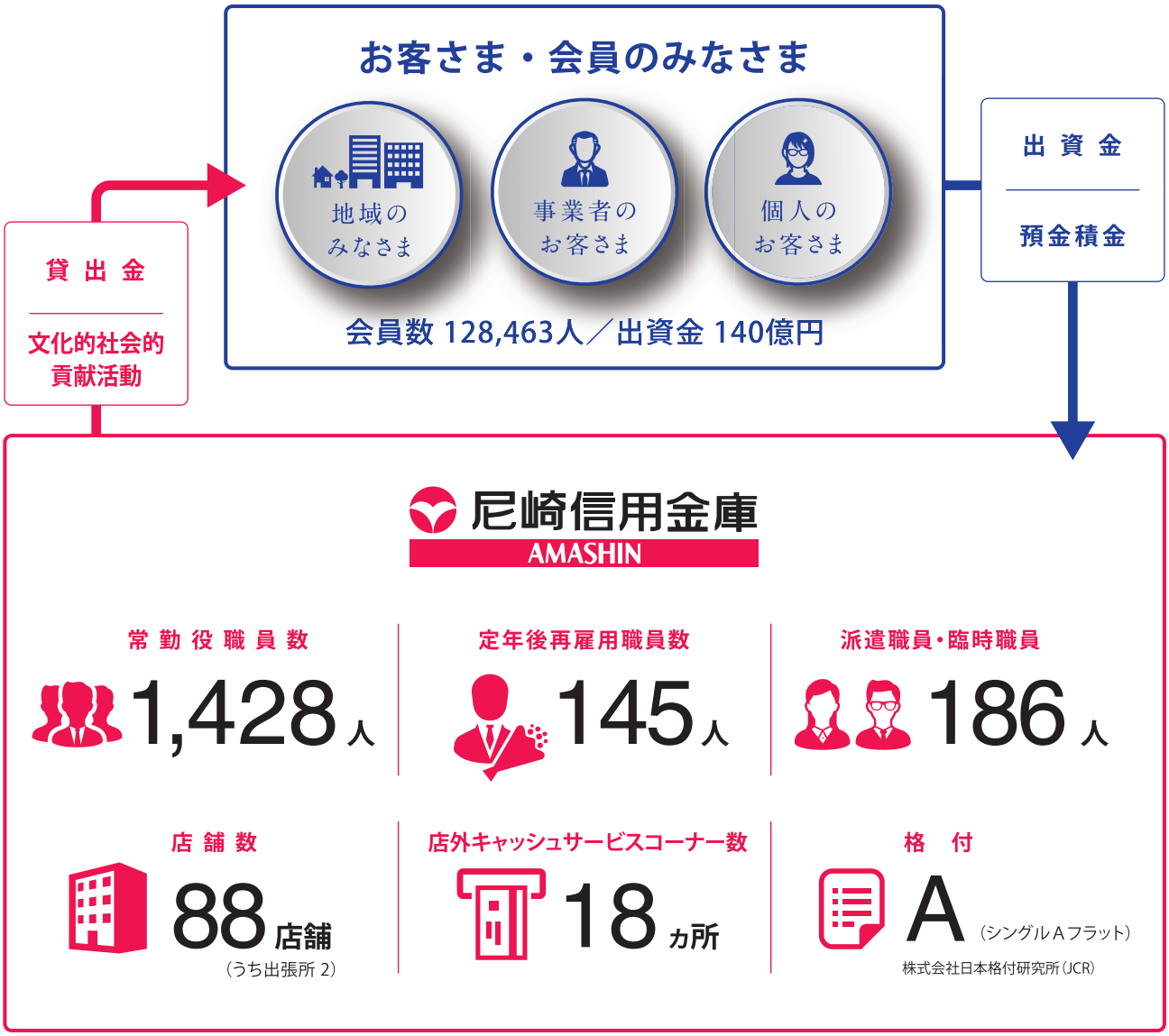
金融サービスの提供を通じて、これからも
地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

地域との共存共栄が〈あましん〉の使命です

当金庫は阪神間を中心とする40市4町を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となってお互いに助け合い、お互いに発展していくことを目的とする相互扶助の理念のもと「地域との共存共栄」をめざして運営されている協同組織金融機関です。地元のお客さまからお預かりした大切な資金は地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業の繁栄や豊かな暮らしのお手伝いをしています。

今後も当金庫は金融サービスの提供を通じて地域経済の持続的な発展に努めていくことはもちろん、地域住民の一員として地域貢献活動に取り組み、環境・安全・教育・文化といった幅広い分野で地域の活性化に貢献してまいります。

持続可能な社会の実現 地域活性化



（2024年3月31日現在）

2023年度の業績ハイライト

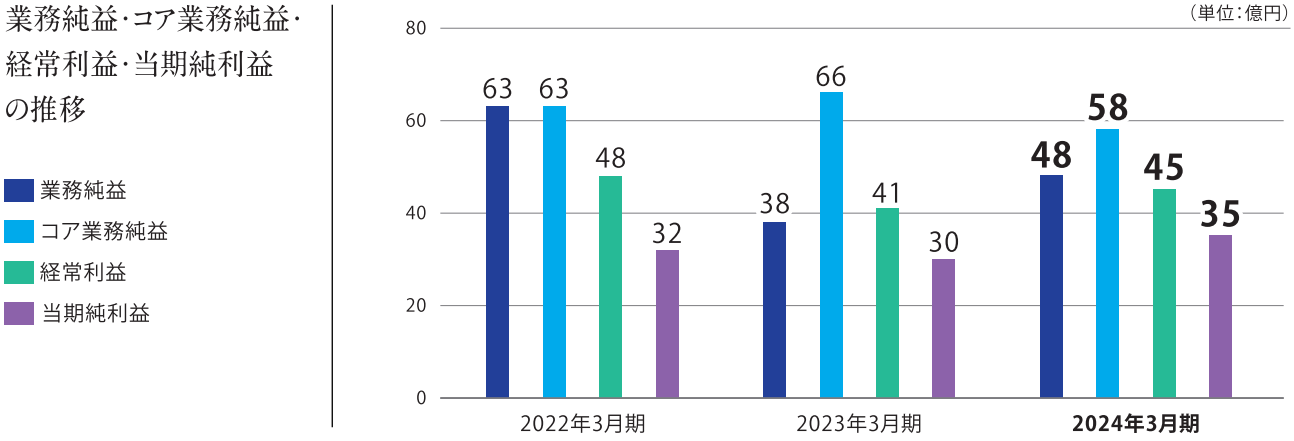
業務純益	経常利益	当期純利益
48億円	45億円	35億円

■損益状況

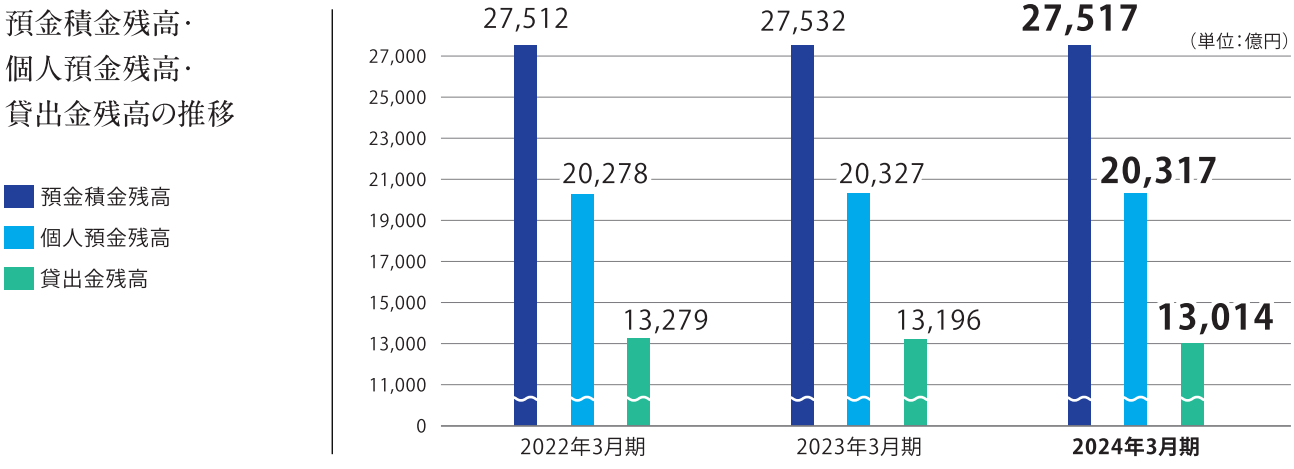
金融機関を取り巻く収益環境が厳しい中、業務純益48億円、経常利益45億円、当期純利益35億円を計上しました。
また、金融機関としての本来的な収益力を示すコア業務純益は、58億円と安定した収益基盤を維持しております。
当金庫は、これからも地域・お客さまの持続的発展や課題解決に貢献し、ともに成長できる好循環の実現に努めてまいります。

■事業の状況を示す指標

業務純益・コア業務純益・経常利益・当期純利益の推移



預金積金残高・個人預金残高・貸出金残高の推移

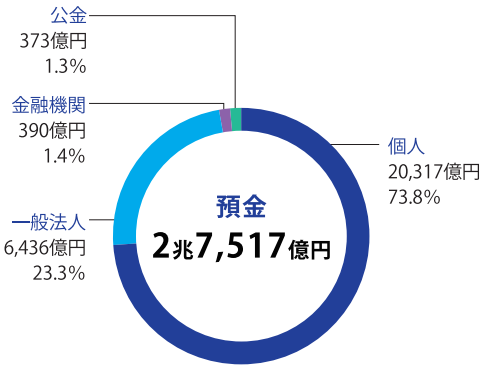


あましんの「いま」

預金積金

預金積金残高は、お客さまのニーズに的確かつタイムリーにお応えする各種商品を揃え、ライフプランに応じたサービスの提供に努めた結果、期末残高は2兆7,517億円となりました。総預金に占める個人預金の割合は73.8%となりました。
また、「がんばれ阪神タイガース定期預金」は総残高で2,420億円のお預入をいただきました。

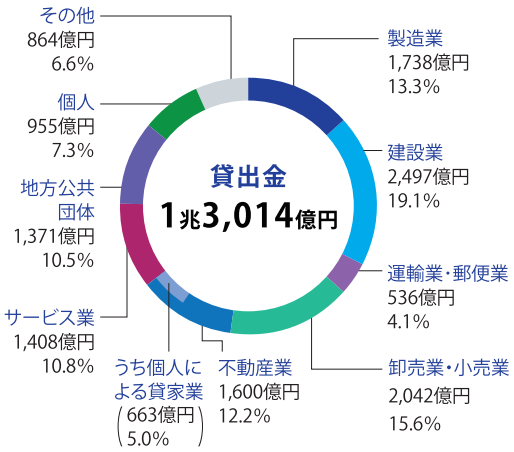
■預金の預金者別内訳



貸出金

貸出金残高は、お取引先の経営課題やニーズを的確に把握し、対話を通じた伴走支援に積極的に取り組みました。
また、小口先数主義を徹底し、事業性評価による金融仲介機能の発揮に努めました。その結果、期末残高は1兆3,014億円となりました。

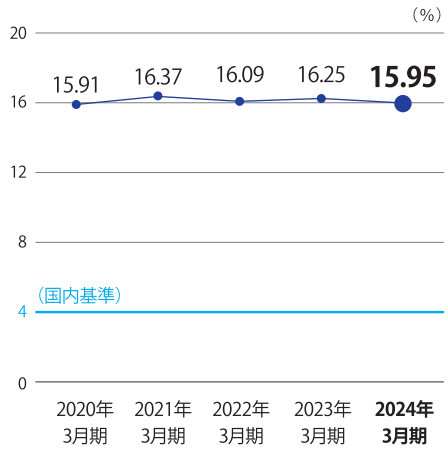
■貸出金の業種別残高内訳



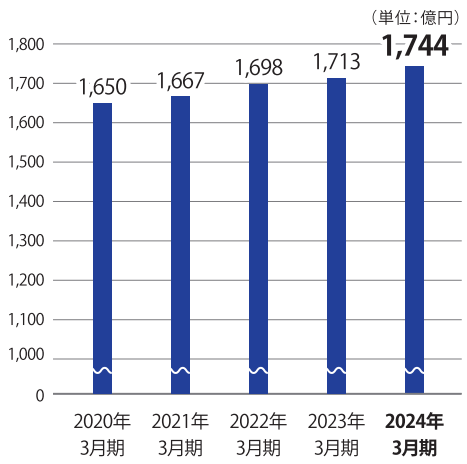
自己資本比率（国内基準・単体）の状況

当金庫では、資本の有効活用の観点から、適切なリスク管理のもと、地域のお客さまに対する金融仲介機能の積極的な発揮に努めるとともに、有価証券運用では中長期的な観点に立って期待リターンの高い国際分散投資を着実に進め、経営の健全性維持と収益力の向上の両立をめざしています。
2023年度は、貸出について、コロナ関連の制度融資の返済が本格化する一方、制度融資以外の事業性貸出が増加したほか、有価証券運用についても、収益確保に向け国内事業債や株式投信等への投資を増やしたため、貸出、有価証券ともにリスクアセットが増加しました。その結果、自己資本比率は、15.95%と前期末対比で幾分低下しましたが、引き続き国内基準（4%）を大きく上回り、高い健全性を維持しております。

■自己資本比率（単体）の推移



■自己資本額（単体）の推移



信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権における不良債権残高は、国内外の不安定な情勢、資源価格の高騰などを受け全国的に倒産事故が増加するなか、コロナ後の回復状況や将来の不確実性を踏まえて保守的に債務者区分を判定した結果、2023年3月末に比べて19億円増加しました。また、不良債権比率は5.80%と前期末より0.22ポイント上昇しました。
これまで同様、不良債権に対する適正な引当を行い、厚い内部留保とあわせて万全の備えをしています。

■信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

（単位：億円）

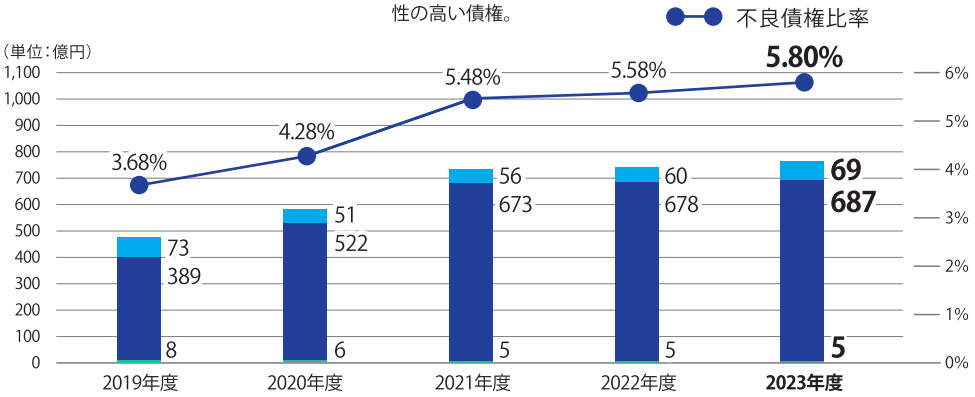
区　分	2022年度	2023年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	60	**69**
危険債権	678	**687**
要管理債権	5	**5**
三月以上延滞債権	—	**—**
貸出条件緩和債権	5	**5**
小　計（A）	743	**762**
保全額（B）	688	**713**
個別貸倒引当金（C）	53	**43**
一般貸倒引当金（D）	0	**0**
担保・保証等（E）	635	**670**
保全率（B）／（A）（%）	92.6%	**93.6%**
引当率（（C）＋（D））／（（A）－（E））（%）	49.4%	**47.3%**
正常債権（F）	12,571	**12,365**
総与信残高（A）＋（F）	13,315	**13,127**
不良債権比率（A）／（A）＋（F）（%）	5.58%	**5.80%**

■金融再生法ベースによる不良債権比率と残高推移

破産更生債権及びこれらに準ずる債権
破産、会社更生、再生手続などの事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

危険債権
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

要管理債権
「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金。



The Past Year's Efforts

あましんの1年間の取り組みをお伝えします。

当金庫は、創業以来「地域社会への貢献」を経営の基本方針に掲げ、地域経済の活性化と持続的発展、魅力ある地域社会づくり、環境保全の永続的な取り組みなど、地域社会の発展を常に考えた事業活動に取り組んでいます。

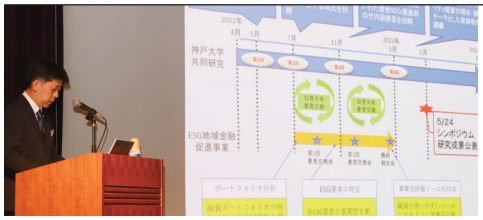
2023

4月 「有料職業紹介事業」の許可取得

信金初 「海外ビジネス支援パッケージ」への参画

海外展開に取り組む中小企業・小規模事業者への支援を強化するため、日本政策金融公庫、中小企業基盤整備機構、日本貿易保険が構築した「海外ビジネス支援パッケージ」に信用金庫で初めて参画しました。

5月 神戸大学とESGの共同研究成果発表・シンポジウムを開催



6月 「あまちゃん・しんちゃん子ども食堂」オープン



ポリテクセンター2支部と連携協定締結

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部および兵庫支部の職業能力開発促進センター（ポリテクセンター）と「産業人材育成等に関する連携協定」を締結しました。



7月 あまがさき産業フェア2023



環境省「ESG地域金融促進事業」への採択

環境省が実施する令和5年度「ESG地域金融促進事業」の支援先機関として2年連続で採択されました。

あましん リ・バース60（住宅融資保険付）の取扱開始

8月 住宅ローン情報サイト「スゴ速」とのサービス連携開始



金融機関初 JTBと「越境EC」に関する連携開始

地域ならではの地場産品や特産品など日本の魅力を集めた越境EC支援サービス「47storey」に関して、金融機関で初めて株式会社JTBと連携しました。



9月 事業者向けポータルサイト「あましんビジネスポータル」の取扱開始

10月 芦屋市内3ヵ店が兵庫県芦屋警察署と「特殊詐欺等の犯罪被害の防止に関する連携協定」を締結



11月 尾浜支店新築オープン

新店舗は、エネルギー消費を削減し環境負荷を減らす省エネルギー性能に優れた建築物として建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）の最高ランク5つ星の評価を受け、「ZEB Ready（ゼブ レディ）」認証を取得しています。



伊丹市内7ヵ店でフードドライブを実施



12月 第13回「あましんグリーンプレミアム」授賞式を開催



2024

1月 南海電鉄×あましん 海外IT（CAD）人材紹介サービス「Japal」の業務提携開始

IT人材輩出新興国であるネパールに着目した人材紹介支援ワンストップサービス「Japal」を提供する南海電気鉄道株式会社と信用金庫で初めて業務提携を開始しました。



2月 補助金・助成金自動診断サービス「Jシステム」の取扱開始

金融教育プログラムの受講生8,000人突破

地域の未来を担う児童・生徒たちに「金融の知識やお金の大切さ」を学んでもらおうと実施している金融教育プログラムの受講生が8,000人を超えました。



〈あましん〉のSNS

当金庫の取り組みや地域情報など、皆さまのお役に立つ情報をタイムリーに発信していますので、ぜひご覧ください。

Facebook▶

Instagram▶

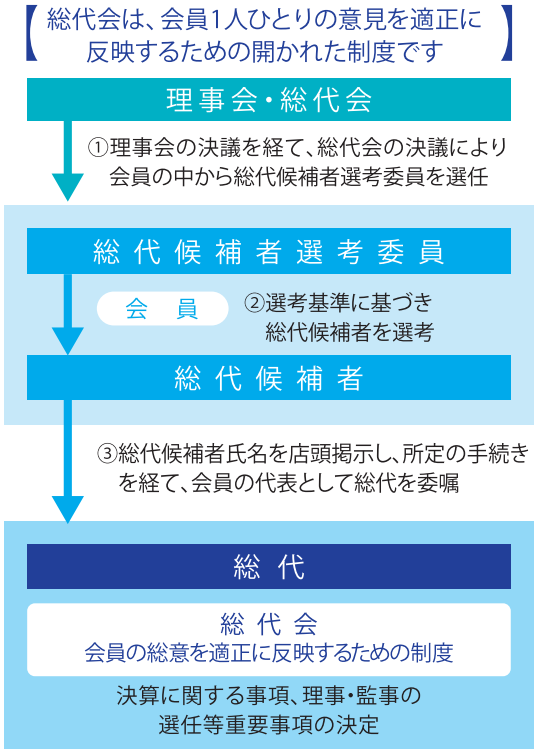
あましんの経営体制

開かれた総代会をめざして

［1］総代会のしくみ

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に会員1人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員1人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、様々な経営改善に取り組んでいます。



［2］総代とその選任方法

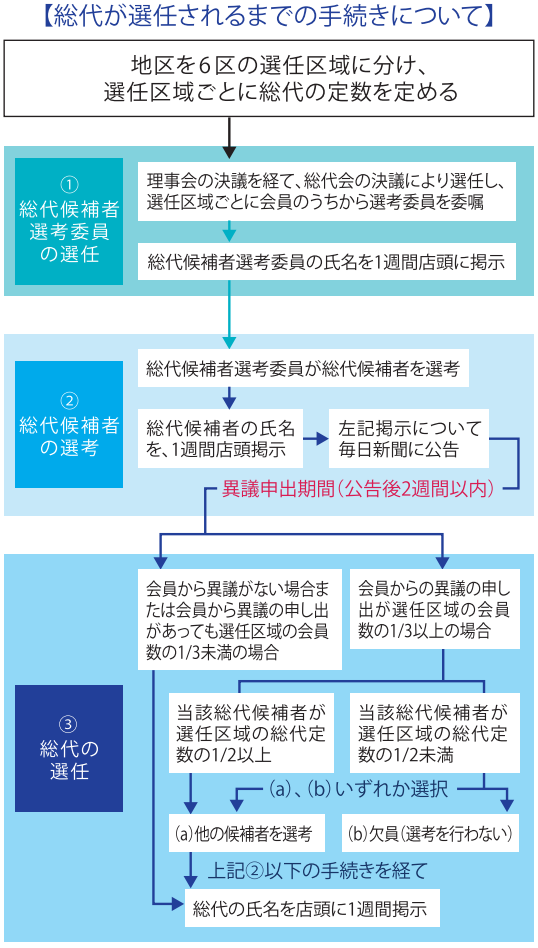
❶ 総代の任期・定数・定年

- 総代の任期は2年です。
- 総代の定数は定款に定める範囲内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められています。
- 総代の定年は満80歳です。（但し任期の途中で年齢が満80歳に達した場合はその任期の満了をもって終えるものとします。）
- なお、2024年3月31日現在の総代数は136名で会員数は、128,463名です。

❷ 総代の選任方法

総代は会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

(1) 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
(2) その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
(3) その総代候補者について会員に信任を問う。



経理・経営内容

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●貸借対照表

（単位：百万円）

科　目		2023年3月31日現在	2024年3月31日現在
資産の部	**現金**	**15,553**	**15,115**
	預け金	**732,911**	**715,254**
	買入金銭債権	**10,235**	**8,889**
	金銭の信託	**21,997**	**17,646**
	商品有価証券	**—**	**6**
	商品国債	—	6
	有価証券	**1,086,757**	**1,059,805**
	国債	153,029	127,553
	地方債	130,410	116,062
	社債	295,097	302,193
	株式	14,553	16,148
	その他の証券	493,666	497,847
	貸出金	**1,319,654**	**1,301,464**
	割引手形	15,350	16,232
	手形貸付	29,837	28,132
	証書貸付	1,234,365	1,213,462
	当座貸越	40,101	43,637
	外国為替	**1,667**	**1,712**
	外国他店預け	1,174	1,228
	買入外国為替	12	—
	取立外国為替	479	484
	その他資産	**25,241**	**21,873**
	未決済為替貸	503	1,066
	信金中金出資金	11,613	14,943
	前払費用	—	30
	未収収益	2,422	2,476
	金融派生商品	1,116	481
	その他の資産	9,585	2,874
	有形固定資産	**19,614**	**19,680**
	建物	5,955	6,089
	土地	11,421	11,398
	リース資産	678	506
	建設仮勘定	—	1
	その他の有形固定資産	1,558	1,684
	無形固定資産	**2,330**	**2,448**
	ソフトウェア	2,080	2,156
	リース資産	123	105
	その他の無形固定資産	126	186
	前払年金費用	**—**	**88**
	繰延税金資産	**15,445**	**12,460**
	債務保証見返	**10,857**	**10,406**
	貸倒引当金 （うち個別貸倒引当金）	**△7,751** （△5,333）	**△6,711** （△4,306）
	投資損失引当金	**△0**	**—**
	資産の部合計	**3,254,514**	**3,180,140**

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

（単位：百万円）

	科　目	2023年3月31日現在	2024年3月31日現在
負債の部	**預金積金**	**2,753,287**	**2,751,782**
	当座預金	89,851	95,549
	普通預金	1,184,123	1,241,693
	貯蓄預金	27,450	27,382
	通知預金	759	647
	定期預金	1,390,097	1,337,670
	定期積金	47,889	38,712
	その他の預金	13,116	10,127
	借用金	**156,900**	**101,300**
	借入金	156,900	101,300
	コールマネー	**50,670**	**42,816**
	債券貸借取引受入担保金	**136,700**	**114,382**
	外国為替	**19**	**77**
	売渡外国為替	—	46
	未払外国為替	19	30
	その他負債	**5,218**	**7,966**
	未決済為替借	854	1,667
	未払費用	1,618	1,654
	給付補塡備金	12	8
	前受収益	658	563
	金融派生商品	336	1,805
	金融商品等受入担保金	325	547
	リース債務	869	691
	資産除去債務	146	146
	その他の負債	396	881
	賞与引当金	**523**	**507**
	退職給付引当金	**207**	**33**
	役員退職慰労引当金	**391**	**325**
	睡眠預金払戻損失引当金	**290**	**365**
	偶発損失引当金	**1,555**	**1,590**
	債務保証損失引当金	**0**	—
	債務保証	**10,857**	**10,406**
	負債の部合計	**3,116,623**	**3,031,553**
純資産の部	**出資金**	**14,202**	**14,001**
	普通出資金	14,202	14,001
	利益剰余金	**155,167**	**158,475**
	利益準備金	15,127	15,127
	その他利益剰余金	140,039	143,348
	特別積立金	136,826	139,626
	（固定資産圧縮積立金）	（448）	（448）
	当期未処分剰余金	3,212	3,721
	会員勘定合計	**169,369**	**172,476**
	その他有価証券評価差額金	**△31,733**	**△24,223**
	繰延ヘッジ損益	**255**	**333**
	評価・換算差額等合計	**△31,478**	**△23,890**
	純資産の部合計	**137,891**	**148,586**
	負債及び純資産の部合計	**3,254,514**	**3,180,140**

●損益計算書1

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
（単位：千円）

科　目	2022年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	2023年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
経常収益	**33,705,521**	**35,911,001**
資金運用収益	**28,292,642**	**29,590,004**
貸出金利息	15,406,456	15,529,210
預け金利息	1,614,754	1,447,905
コールローン利息	20,686	22,706
有価証券利息配当金	10,896,116	12,218,563
金利スワップ受入利息	1,097	9,029
その他の受入利息	353,531	362,588
役務取引等収益	**2,829,717**	**3,078,755**
受入為替手数料	999,061	1,012,040
その他の役務収益	1,830,656	2,066,715
その他業務収益	**291,149**	**90,347**
商品有価証券売買益	20	—
国債等債券売却益	252,367	40,968
金融派生商品収益	323	—
その他の業務収益	38,438	49,379
その他経常収益	**2,292,011**	**3,151,895**
貸倒引当金戻入益	282,684	613,638
償却債権取立益	209,649	207,055
株式等売却益	1,335,145	2,008,839
金銭の信託運用益	8,906	100,154
その他の経常収益	455,625	222,207
経常費用	**29,601,224**	**31,320,325**
資金調達費用	**935,097**	**930,930**
預金利息	710,866	657,421
給付補塡備金繰入額	1,923	1,243
借用金利息	4,154	47,761
コールマネー利息	146,279	131,503
債券貸借取引支払利息	17,140	18,005
金利スワップ支払利息	30,049	46,128
その他の支払利息	24,684	28,865
役務取引等費用	**860,898**	**873,659**
支払為替手数料	309,104	311,939
その他の役務費用	551,793	561,720
その他業務費用	**5,455,933**	**5,413,647**
外国為替売買損	2,423,333	4,368,306
国債等債券売却損	3,028,363	1,039,908
その他の業務費用	4,235	5,432
経費	**20,333,692**	**20,688,313**
人件費	9,353,673	9,883,771
物件費	10,025,051	9,925,530
税金	954,967	879,011
その他経常費用	**2,015,602**	**3,413,774**
貸出金償却	728,850	996,365
株式等売却損	428,183	698,240
金銭の信託運用損	220,239	732,634
その他資産償却	47,352	68,054
その他の経常費用	590,976	918,479
経常利益	**4,104,296**	**4,590,676**

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●損益計算書 2

（単位：千円）

科　目	2022 年度 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで	2023 年度 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで
特別利益	**39,575**	**65**
固定資産処分益	39,575	—
その他の特別利益	—	65
特別損失	**84,816**	**55,548**
固定資産処分損	84,750	33,308
減損損失	—	22,239
その他の特別損失	65	—
税引前当期純利益	**4,059,055**	**4,535,193**
法人税、住民税及び事業税	**777,452**	**890,834**
法人税等調整額	**230,463**	**51,815**
法人税等合計	**1,007,915**	**942,649**
当期純利益	**3,051,140**	**3,592,544**
繰越金（当期首残高）	**161,656**	**128,814**
当期未処分剰余金	**3,212,797**	**3,721,358**

●剰余金処分計算書

（単位：千円）

科　目	2022 年度 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで	2023 年度 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで
当期未処分剰余金	**3,212,797**	**3,721,358**
計	**3,212,797**	**3,721,358**
剰余金処分額	**3,083,982**	**3,579,963**
普通出資に対する配当金	283,982	279,963
（配当率）	（年2%）	（年2%）
特別積立金	2,800,000	3,300,000
繰越金（当期末残高）	**128,814**	**141,395**

尼崎信用金庫役員

（2024年3月31日現在）

理事長	（代表理事）	作田　誠司
専務理事	（代表理事）	今井　康裕
専務理事	（代表理事）	和田　敦裕
常務理事	執行役員	上野　成昭
常務理事	執行役員	小澤浩太郎
常務理事	執行役員	杉森　貞之
常務理事	執行役員	岡島　尚也
理事	執行役員	小林　卓治
理事	執行役員	松田　弥栄
理事	執行役員	田口　裕久
理事	執行役員	片岡　　睦
監事		西田　芳則
監事	（非常勤）	宮永　俊文
監事	（非常勤）	岩田　　強

※常務理事 小澤浩太郎と岡島尚也は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
※監事 岩田強は、信用金庫法第32条第5項に規定する員外監事です。